

滋賀県議会だより



No.99

編集・発行 / 滋賀県議会

9月定例会議の概要

9月18日～10月11日の24日間

9月定例会議では、「令和元年度滋賀県一般会計補正予算」をはじめとする知事提出議案51件と議員提出議案7件が上程されました。これらを審議した結果、意見書案3件を否決したほか、決算特別委員会を設置して休会中に審査することとした平成30年度滋賀県歳入歳出決算の認定議案等を除き、いずれも原案のとおり可決または同意しました。

各委員会では、付託された各議案、請願その他所管事項について審査および調査を行いました。

●補正予算に対する附帯決議案を委員会で可決

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の主会場となる(仮称)金亀公園第1種陸上競技場の整備費用を約21億円上乗せする「令和元年度滋賀県一般会計補正予算(第3号)」に対し、増額の根拠を明らかにして県民に対して説明責任を果たすこと、主会場の整備費用の総額を200億円以内におさめると説明してきたことに鑑み、総額の抑制に努めること、今回の入札不落の原因を検証して再発防止に努めることを求める附帯決議案を土木交通・警察・企業常任委員会で可決し、本会議で委員長から報告されました。

9月定例会議における 質疑・質問から

交通政策

問 近江鉄道沿線自治体首長会議において、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会が設置され、近江鉄道のあり方を議論していくこととなったが、今後の課題と協議の見通しについて伺います。

答 近江鉄道線の今後のあり方については、市町により様々な考え方があり、とりわけ存続形態や将来にわたる財政負担を懸念するご意見も多く、市町間の意見調整が必要であると認識しています。また、沿線住民や利用者等、沿線地域における気運の醸成も必要と認識しています。

農林水産業

問 滋賀の農業振興に関する新たな条例の検討状況と次期農業・水産業基本計画との関係、農業振興にかける知事の思いを伺います。

答 新たな条例については、先の6月定例会議以降、農政水産部に検討会議を設置し、本県農業の持続的な発展を目指す上での課題や対応などについて論点の抽出を行ってまいりました。喫緊の課題である、「生産力の最大化」、「気候変動」、「琵琶湖を始めとする環境保全」などに対応するため、例えば、滋賀の風土に適した新品種の育成やその権利保護、種子の安定供給、スマート農業などの革新的技術の体系化といった項目を盛り込むことを検討してまいります。今後、県民の方々から



近江鉄道

まずは住民、利用者のニーズをしっかりと把握した上で、沿線地域の目指すべき将来像

を県と市町で共有し、近江鉄道線の必要性について共通認識を持つことが肝要であると考えます。

こうしたことを踏まえ、令和2年度中に法定協議会において沿線地域の公共交通網のマスタープランとなる「地域公共交通網形成計画」を策定し、令和4年度から新たな運営形態へ移行できるようにしっかりと取り組んでまいります。

幅広くご意見を伺い、来年中に県議会に提案できるように進めてまいります。

新たな条例は、持続的で発展性のある農業振興を長期的かつ重点的に図ることを目的とし、県の責務等を明らかにするものであるのに対し、次期基本計画は、本県農業・水産業部門全般にわたる農政の総合的な指針として、今後の中期的な施策の方向性を示すものであり、それぞれ密接に関係するものです。

今後、策定を進めるこれら基本計画、条例に基づき、新たな課題にしっかりと対応し、農業者が意欲と誇りを持ち、農業生産に取り組みことができる環境づくりを進め、力強い農業の実現を目指してまいります。



環境に配慮した魚のゆりかご水田

福祉政策

問 ひきこもり支援センターを核とした相談や支援の現状と課題、今後の展開について伺います。

答 ひきこもり支援センターでは、昨年度6600件

を超える相談対応を行う中、市町支援・人材育成にも努めています。さらに専門的な支援を充実させる必要があります。

また、甲賀・湖南ひきこもり支援「奏かなで」による当事者に寄り添った訪問活動であるアウトリーチや家族支援の先駆的取組を他の圏域にも広げるため、県社会福祉協議会に委託し、圏域ごとに関係機関によるネットワーク整備を進めており、一部の圏域では相談やアウトリーチまで取組を進めていると伺っています。しかし、ネットワークが整備されたものの、相談やアウトリーチをどのように行っていくのか、検討を進める必要がある圏域もあります。

国においては、「アウトリーチの充実」や「専門的支援機能の強化」等を打ち出しており、こうした制度も活用しつつ、今後、全ての圏域へネットワークの整備を広げ、アウトリーチの取組を進めるとともに、ひきこもり支援センターの機能強化を図り、困難な事例の相談・支援や、ネットワークのバックアップを行ってまいります。

子育て支援

問 平成29年に国が取りまとめた「新しい社会的養育ビジョン」において、里親による養育の推進が示されたが、本県の里親等委託率の評価と今後の里親委託推進について伺います。

平成29年に国が取りまとめた「新しい社会的養育ビジョン」において、里親による養育の推進が示されたが、本県の里親等委託率の評価と今後の里親委託推進について伺います。

用語解説

※1 「スマート農業」… ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産の実現等を推進する新たな農業のこと。

※2 「アウトリーチ」… 福祉サービスで自発的に援助を求めてこない人に手を差し伸べ、利用を実現させる活動。

行財政



滋賀県里親連合会における里親制度啓発イベントの様子

問 財政状況が厳しさを増す中、新年度当初予算編成においてどのような点を重視して取り組むのか伺います。

答 本県における平成31年4月1日時点の里親等委託率は、34.4%であり、全国での比較ができる平成29年度末の里親等委託率は36.4%と、全国平均の19.7%と比較しても高く、児童相談所を設置する69都道府県市中でも7番目です。このことは、これまでから新たな里親開拓の取組や、里親家庭の巡回訪問、悩みごと電話相談等の里親委託後の支援に取り組んできたことあるのではな

スポーツ

問 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の主会場として使

想」の進化・具体化、現在策定中の「次期総合戦略」の着実な推進やそれらの基盤となる財政の健全化に留意し、今後の予算編成に臨んでまいります。具体的には、「健康しがへ」の挑戦」をメインテーマに、「健康しが」の取組を「やまの健康」をはじめ、もう一段進め、高めることを目指すとともに、文化、スポーツ、観光などの可能性を更に伸ばし、教育、福祉、環境、交通などの社会的課題を、滋賀から先導的に解決していく気概を示せるよう取り組んでまいります。また、「誰ひとり取り残さない」とりわけ「子どもの施策を重視すること」、「わくわくする予算を作ること」、「世界とのつながりを意識する」この3つの視点を重視しながら、基本構想で掲げる「未来へと幸せが続く滋賀」の実現に資する予算案を作り上げてまいります。同時に今後、令和4年度までの収支改善の取組をしっかりと実行に移し、収支改善目標の達成を図るとともに、全庁で危機感を共有しながら来年度予算編成においても、更なる歳入の確保、歳出の見直しに不断に取り組んでまいります。

学校教育

問 教育現場へのICTの導入による学習成果や教

員の指導力向上の取組について伺います。答 学習指導におけるICT活用の効果については、文部科学省の調査研究等から、知識・技能等の習得をはじめ、子どもたちの学習意欲向上においても効果があると思われています。県教育委員会では、各市町の小中学校におけるICT機器の活用状況等を把握し、年間を通して、学校におけるICT活用を推進する教員を中心とした研修を行っています。また、県総合教育センターの研修指導主事が市町や学校に出向き、各教科等で目指す資質・能力を育むためのICT活用に関する研修を実施しており、より一層の指導力や授業力の向上を目指しています。市町教育委員会に対しては、ICTの有効性を踏まえ、他県の実践や県内のICTの活用による学習効果等を紹介しながら、小中学校へのICT機器の更なる導入が進められるよう引き続き働きかけていきます。



小学校でのICTを活用した授業風景

9月定例会議で審議した主な議案

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists various council resolutions including budget amendments and administrative regulations.

9月定例会議で審議した意見書

Table with 4 columns: 番号, 件名, 結果. Lists council opinions on issues like rice price stabilization and disaster relief.

議会からのお知らせ

Information section containing: 決算特別委員会の設置 (Fiscal Year Special Committee Establishment), 滋賀県議会ホームページ、Twitter(ツイッター) (Shiga Prefecture Council Website and Twitter), and a QR code.

この印刷物は古紙パルプを配合しています